

「この台本の記載は、本編音声とは一部内容が異なることがあります。」

【ローザA】まあでも……少しくらい男らしいところも見せてもらおうかな……つて思つたりもしてゐるんだけど……。

【ローザB】というわけで、今度はこれ。何だかわかるわよね？

主人公：ダッチワイフ……ですね（今度は何やらされるんだろうと怪訝な表情で）

【ローザA】そう。ダッチワイフのマナミちゃんよ。かわいいでしょ？ 柱にくりつけられて……お尻をこっちに向けて……とってもいやらしい格好だわ。

【ローザB】今からお前に、この子とセックスしてもらうわ。バックでマナミのオマンコについて、イかせてあげなさい。

【ローザA】これ、ただのダッチワイフじゃないの。うちのママがメーカーにお願いして特別に作つてもらつたのよ。ちゃんと上手に責めてあげれば、この真っ白な肌がだんだん赤くなつてきて、最後はプルプル震えてイっちゃうの。

主人公、本当ですかと言いたいが言い出せない。

【ローザB】なに、その顔は。信じられないの？

【ローザA】やつてみればわかるわ。……まあ、お前みたいなマゾのヘナチョコピストンじゃ、マナミ……イかないかもしれないけどね。

【ローザB】言つとくけど、壊さないでよ。高いんだから。修理するのに私が一か月タダ働きしなくちやいけなくなつちやう。

【ローザA】まあ、心配しなくてもよほどのことがなければ壊れないわ。オマンコの部分は脱着式だからあまり乱暴にすると外れるかもしれないけど……。とにかく、そのくらい高性能だつていうこと。わかった？

主人公：は、はい。わかりました。

【ローザB】わかつたらほら、さつさとマナミのオマンコにその粗末なモノをぶち込みな。もうお前のチンポで突き刺されるのを待ちわびてるんだよ。

【ローザA】ほら、チンポをオマンコにあてがつて……ぶつ刺しな！

主人公、マナミに挿入する。入れた瞬間、その気持ちよさに驚きの声をあげる。

【ローザB】ふふ……どう、マナミのオマンコの味は。あつたかくて、ヌメヌメのヌチョヌチョで……、チンポをきゅうきゅう締め付けてくるだろ？ 男の精液を無理やり搾り取る形をしたオマンコに、お前のチンポ……耐えられる？

【ローザA】気持よすぎて……ふふ、身体の力が入らなくなっちゃうねえ……。まるで生き物みたいにウネウネ動いて、チンポがオマンコの奥へ奥へと引きずり込まれて……、チンポの先っぽがねつとりとしたヒダヒダに包み込まれて……。

【ローザB】この子がどれだけ高性能か……わかつた？ ん？

【ローザA】ほら……、動いてごらん。腰を振つてマナミをイかせてみな。

【ローザB】なんだいそのへっぴり腰は……。そんなんじゃイかせられないよ。もつと男らしく腰振つてごらん。

【ローザA】チンポが溶けそうになるくらい気持ちいいだろ？ でも……お前がやらなくちゃいけないことは、お前がいくことじゃなくて、マナミをイかせることだからね。

【ローザB】マナミより先にイつたら……、マナミにイかされたら……、ムチでオシオキ……だからね？

【ローザA】お前がいくのが先か、マナミがいくのが先か……、どっちだろ？ ねえ？ ふふ……うふふふふふつ。

【ローザB】ほら……、耳なめしててあげる。しつかり腰振りな。

必死に腰を振る主人公を左右から挟み込み、言葉責めと耳なめで精神にプレッシャーをかけていく。

【ローザA】お前が腰を振るたびに……ぬちゅぬちゅのオマンコがチンポにこすれて……、ひとすりするたびにチンポにしびれるような快感が走つて……、どんどん気持ちよくなつていっちやう……。

【ローザB】でも……、マナミの肌が温かくなつてきているのがわかるだろう？マナミも感じているんだ。ほら……もつと腰を振つて……男なら女をイかせてなんばだらう？

【ローザA】気持ちいい……。気持ちいいねえ……。マナミのオマンコ気持ちいいねえ……。気持ちよすぎて……ふふつ、お前……先にイかされちゃうんじゃないの？

【ローザB】しょせんはマゾブタだものねえ、お前。マゾブタがいくらがんばつたつて、女に勝てるわけないんだもの。どうせお前、イカされちゃうよ。お前のマゾチンポ、マナミにイカされちゃうんだ。ふふ……うふふふふつ。

【ローザA】悔しい？ こんなこと言われて悔しくないの？ ん？ 男だったらほら、自慢のチンポで女をイカせなくちや。ねえ。がんばれ……ほら、がんばれ。うふふふふふつ。

【ローザB】自慢のチンポが……マナミのオマンコの中でいじめられてる……。ふふつ。マナミをイかせるために腰を振れば振るほど、気持ちよくなつちゃう。マナミに気持ちよくさせられちゃう……。

主人公、マナミの性器の気持ちよさに、先にイカされそうになつてしまつ。

【ローザA】どうした？ ん？ 顔がだんだん切なそうになつてきてるよ。まさか……もうイつちゃうんじゃないだらうねえ？

【ローザB】マナミ……こんな感じまだまだイかないよ。ほら、チンポイきそうなの我慢してしつかり腰振りな。

【ローザA】だんだんわかつてきただろう？ お前のチンポは……自慢のチンポなんかじゃないんだ。かたく勃起したそれで女を貫いて、アンアン喘がせることなんて……お前にはできやしないの。

【ローザB】自分のシンボル……自分そのものであるチンポをいじめられて、アヘ顔をさらしながらびゅくびゅく搾り取られちゃう、どうしようもなく弱い存在……。それがお前。だろう？ 違うかい？ ふふ……うふふふふふ。

【ローザA】こうやつて言葉で責められるのも大好きで……、女になじられればなじられるほどチンポも気持ちよくなつて……。お前……もうマナミに勝とうつて気持ち、なくなつてるんだろう？

【ローザB】お前のチンポ……マナミに負けちゃうね。マナミのオマンコにイカされちゃうねえ。お前が無様に負けるところ……私たちが見ててあげるよ。

【ローザA】ほら、イキな。マナミに搾り取られちまいな。イケ……ほら、イつてしまえ。

(射精)

【ローザB】あはっ、イつた。イつちゃつたねえ。負けちゃつたねえ。

【ローザA】お前……なにイつちまつたんだい。先にイカされたらオシオキつて……忘れちゃつたの？ ん？

【ローザB】ちゃんと覚えてたわよねえ。ムチで叩かれたくないから必死で我慢したんだろう。ね？ でも……マナミのオマンコが気持ちよすぎて……先にイカれちゃうつてわかっちゃつて……。

【ローザB】限界まで我慢したけど、最後は諦めて射精しちゃつたのよね？ もう負けてもいいやつて思つちゃつたんだろう？

【ローザA】その気持ちの弱さが……お前の弱さよ。その性根……ムチで叩き直してあげる。……ほらっ！ ほらっ！ ほらあっ！

【ローザB】ほーら、歯を食いしばつて我慢なさい。女王様のムチ……ありがたよく受け止めるのよ。

【ローザB】ほら見てて『らん。どうやつたらマナミをイカせられるか、このデイルドを使って見本を見せてあげる。どう刺激したらマナミがいい反応をするか、ちゃんと見てるんだよ。

ローザBがマナミの性器を愛撫する。

【ローザB】ほおら、ちゃんと見る！ マナミの体……火照ってきただろ？ お前と違つてこういうふうに相手のことをよく見ながら刺激してあげれば、ちゃんと感じさせることができるんだよ。

ちょっと時間が経過（省略）

（フェードイン・ムチの音が鳴り響く）

マナミが絶頂する。

【ローザB】ほら、いつた。マナミの体がビクビクって痙攣して……ちゃんといかせられただろ？ カわいい声でえいでくれればもつと面白いかもしねないけど、オモチャにそこまで期待してもね。

【ローザA】わかった？ ん？ わかったかい？ マナミがイかなかつたのは、マナミが悪いんじゃなくて、お前がヘタクソなだけなんだよ。

半信半疑で見ていた主人公だが、実際にいくところを見せられて呆然としながら何度も謝る。

【ローザA】まあ、今ので十分わかつただろ。ムチもこのくらいにしといてあげる。

【ローザB】オシオキしていただいたお礼、言わなくちゃね。女王様、ありがとうござりますつて。

【ローザA】お礼よりも、行動で示してほしいわね。……というわけで、マナミにリベンジして見せなさい。もう一度マナミのオマンコに挑んで、今度こそイかせてごらん。

主・ふえ……？

【ローザB】ん？ なにその顔は。なに終わった気になつてるの？ まだプレイ終了だなんて言つてないわよ？

【ローザA】お前っていう男はどこまでどうしようもないんだろうね。ここではお前に決められることなんてなに一つとしてないの。そんなシンプルなルールも守れないの、お前は？

主・も、申し訳ございません。

【ローザB】別に謝らなくてもいいわ。謝る暇があったらマナミをイカせることに集中しな。

主・で、でももう、ちんちんが……

【ローザA】チンポもう立たないとか、そんな言い訳は聞きたくないねえ。立たないなら……無理やり立たせるまでだよ。ねえ？

【ローザB】そうね、じゃあ……。

(ヒールの足音が近づいてくる)

【ローザC】ふふっ……うふふふふふふっ……。

【ローザA】3人目の私がお前のケツマンコを犯して……。

【ローザB】無理やりチンポ勃起させてあげる。

【ローザA】ほら、みてごらん。さっきお前のケツマンコをイかせたのと同じ形のペニバンだよ。

【ローザB】怖がつてもダメ。逃がさないよ。おとなしくもう一度ケツマンコ犯されちゃいな。

【ローザC】ほら、捕まえた。行くよ。……んっ！

【ローザA】あ、入れられちゃった。ケツマンコ犯されちゃったねえ。

主・あひいい……。

【ローザB】うふふ……す、い顔。そんな切なそうにして……。

【ローザC】すぐに頭真っ白にしてあげる。ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ん……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……。

【ローザA】ふふつ……もう気持ちよさそうな顔になっちまつてるじゃないか。お前のケツマン口はほんと淫乱だねえ。

【ローザC】まだまだこんなもんじゃないよ。ほらっ……、ほらあつ……。奥まで突き刺してつ……、ほらっ……、身体の髓まで感じさせてあげるつ……。んつ……、んつ……、んつ……。ふふ……うふふふふつ。

【ローザA】ケツマン口気持ちいい？ 女王様のチンポでケツマン口ズボズボ犯されるのがそんなにいいのかい？

【ローザB】お前のピストンよりずっと上手だろう？ お前のはただ腰を前後に動かしてるだけ。そんなんじゃ相手をイかせることなんてできやしないの。

【ローザA】感情をこめて激しくピストンするときだけ、ちゃんと相手の様子を見て、感じるところを責めてあげないと……。

【ローザC】激しくしてあげようか？ ん？ ほら……ほらほらっ、ほらほらほらほらほらほらほらほらほらほらほらっ。んふつ……、んふふふつ、ほらほらほらほらほらほらっ、んつ、んふつ、んふふふふつ、んふふふふふふふつ。

【ローザA】んふふふふつ、す“いね”，めちゃくちゃに犯されちゃつてるね！

【ローザB】お前のマゾチンポもほら……、どんどん大きくなつて……。やっぱりお前は、女を犯すより、女に犯される方が好きなんだね。くすつ……くすくすくすつ。

【ローザA】もうガチガチじゃないか。ケツマン口犯されてこんなふうにしちまうなんて……、ほんと変態だねお前は。

【ローザB】さあ、もういいだろう？ 今度こそマナミをイかせてみな。主…は、はい……。

【ローザA】また先にいかされるんじゃないよ。今度負けたらどうなるか……覚悟しひきな。

【ローザB】……ん、怖いのかい？ また先にイかされるかもって不安なのかい？

【ローザC】 オモチャヤ相手におじけづくなんて、ヘタレにもほどがあるつてもんだけえ……。ほら、私が手伝つてあげるよ。チンポをこうやって……オマンコに突き刺すんだよつ。

【ローザC】 さつそく気持ちよさそうな顔しちやつて……。やっぱりお前のチンポ、マナミのオマンコにかなわないのかねえ。くすくすくすつ。後ろも気持ちいいし、前も気持ちいいし……。

【ローザA】 前後だけじやないよ。

【ローザB】 左右も……。

【ローザC】 お前のマゾチンポ、ケツマンコ、両耳……、全部犯されてるよ。逃げ場を失つたお前の勝ち目……もうないかもしれないね。うふふふふふつ。

【ローザC】 マナミのオマンコがあつたかくて、ヌメヌメで……、ねつちよりと絡みついてきて……、お前もう気持ちよすぎて腰動かせないんだろう。いいよ、別に。動かさなくとも。両手でマナミの腰に……すがりついてな。

8

【ローザC】 私が動いてつ、お前に無理やりピストンさせてあげるつ……、んつ……、ほらつ……、ほらつ……、ほらつ……、ふふつ……うふふふつ、ほらつ……、ほらつ……。

気力も体力も尽きて動けなくなつてしまつた主人公の尻を犯し、無理やり腰を動かさせてピストンを強制する。

【ローザC】 私が深くまで突けば、お前のマゾチンポもマナミの奥に吸い込まれるだろう？ ほら……、ほら、ほら、ほらつ。

【ローザA】 お前、助けてもらわないと女のオマンコを突くこともできないのかい。オスの資格……ないなお前。この出来損ないが。くす……くすくすくすつ。【ローザB】 出来損ないのくせに自分が気持ちよくなることだけはいつちよ前だねえ……このマゾブタが。お前いま、何しなきやいけないか……わかつてる？ マナミをいかせてみろつて命令されてるんだよ？

【ローザC】お前のケツマン口責めるの、少し休んであげる。ほら、さっき教
えてもらったようにしてマナミをいかせてみな。

【ローザC】まずは、どう動けばマナミがよく反応するか……自分で動いて確か
めてみな。

【ローザA】ふふ……お前にできるかしら。

【ローザB】せいぜいがんばって『らん、うふふふふふ。

主人公、最後の力を振り絞ってピストンする。

【ローザC】ほら……、見て『らん。だんだんマナミの肌が火照ってきた。やれ
ばできるじゃないか。

【ローザC】ん、どうした？　さっきまであんなに調子がよかつたのに……また
急に動けなくなってきたじゃないか。

【ローザA】チンポが気持ちよすぎて、もう動けなくなつたんじゃないの？　ね
え？

【ローザB】やつぱりお前のチンポじや、マナミのオマンコにはかなわないんだ
ね。くすくすくすつ。

主人公、気持ちよすぎて……。

【ローザC】気持ちいいのは当たり前じゃないか、セックスしてるんだから。女
をイかせようと思つたら、少しくらいの気持ちよさは我慢して動いてあげないと。
自分一人気持ちよくなつてたつて、相手はイつてくれないよ。

【ローザC】ほら……自分が男だつていう自覚が少しでもあるなら、ちゃんと腰
振つて『らん。目の前の女をイかせてみな。

【ローザA】がんばれ……。ふふつ、がんばれがんばれ。

【ローザB】お前じや無理だと思つけどね。くすくすくすつ。

主人公、とうとう本当に体力がつき、そのうえ、目の前に差し迫つた射精感で、

動けなくなってしまう。

【ローザA】やつぱりダメ？ マナミのオマンコ気持ちよすぎて、もうこれ以上は無理？

【ローザB】言つただろう、お前のチンポじやどうせ無理だつて。

【ローザC】まつたく……。どこまでもダメな男だねお前は。いいわ、お前はもう黙つて立つてな。私が動いてあげる。ほら……、ほら……、ほらつ……。

【ローザA】あは、またケツマンコ後ろからバコバコ犯されて……。

【ローザB】後ろから突かれるたびにチンポもマナミのオマンコの中でこすれて気持ちよくなつちやうねえ。

【ローザA】このまま前後左右を囲まれて、逃げ場のない中で体と脳みそを快感でさいなまれて……、お前はただただ何もできずされるがままに犯されていくのよ。

【ローザB】犯しつくしてあげる。お前のなにもかもを否定しつくして、お前のすべてを……壊してあげる。

【ローザA】うれしいでしょ？ お前みたいな男として出来損ないのマゾブタにとつては、女に負けて、女に自分の尊厳を踏みにじられるのが……なによりの悦びなんだものねえ。

【ローザB】自分がどうしようもない低俗な存在だってことをかみしめながら……みじめな泣き声をあげて、私を少しは楽しませてちよだい。

【ローザC】なにもできないなら、せめて情けなく泣き悶えるくらいはしてもらわなくちゃ……ねつ。ほらつ、ほらあつ。

【ローザA】いく？ イッちやうの？ またマナミのオマンコに負けてマゾチンポから精液出しちやうの？

【ローザC】我慢しろよほら、男だろ？ 何回イかされるんだよ、お前は。ほらつ……、ほらつ……、我慢つ……しろつ……。ほらつ……ほらあつ

【ローザC】ケツマンコ……、きゅうきゅう縛め付けて……きて……「ち
ちでもつ……んつ……イキそうなのかお前つ？ ど・れ・だ・けつ……おらつ
…スケベなんだ……よつ。

【ローザB】ほんと弱いな、お前。女に負けるために生まれてきたとしか思えな
いよ。くすくすくすつ。

【ローザA】ほら……、もういいよ。出しゃいな。どうせこれ以上我慢したつ
てお前にマナミをイかせることなんてできやしないんだから。

【ローザB】マナミにイカされるの、お前は。マナミのオマンコの中でチンポ犯
されて、白いのびゅーびゅー出しちまうのさ。恥ずかしい声で泣きながらね。

【ローザA】女に犯されて、女に自分を否定されて、泣かされまくつて……、最
高に屈辱的なはずなのに、男として最つ低の目にあわされてるのに……。

【ローザB】お前ときたら……くすくすくすくすつ。マゾっていうのは本当に
どうしようもないね。

【ローザC】……なんてことを言われてつ、喜んでるんだものねつ、お前はつ。
ほら、イケつ、ケツマンコ犯されながらチンポイッちまえつ。

【ローザC】ほらつ、ほらつ、ほらつ、ほらあつ。ケツマンコとつ……、チンポ
両方でつ……、イッちやいなつ！ ほらつ！ ほらほらほらほらつ！

(射精)

【ローザA】あは、イッたね。

【ローザA】マゾブタいつちょあがり。

【ローザA】くすくすくすくすくすくすくすくすくすつ

【ローザB】くすくすくすくすくすくすくすくすつ

【ローザA】抜いていいよ、ほら。

主人公、腰を引く。

【ローザB】あ、こんなにどうどうにして……。そんなに気持ちよかつたのかい？

【ローザC】ケツマン口にさしたのも抜いてあげる。

【ローザA】ふふ……もう全部出し切って放心状態って感じね。何言われるかわかつてないでしょ。

【ローザB】ま、私たちにここまでされて正気を保てた男っていなから……、しうがないんじやない？

【ローザC】ごちそうさま。楽しかったわよ、マゾブタくん。